

共同利用・共同研究成果発表会

日時： 平成 27 年 3 月 2 日 (月) 12:50 ~ 18:00

平成 27 年 3 月 3 日 (火) 9:00 ~ 12:00

会場：高知大学 海洋コア総合研究センター セミナー室

海洋コア総合研究センターは、海洋コアの総合的な解析を通じ、地球環境変動の要因の解明や海洋底資源の基礎研究を行うことを目的として設立された共同利用研究施設です。この成果発表会は、広く全国の皆様に今年度の研究成果をご紹介します。

3月2日(月)

12:50-13:00

開会挨拶 共同利用・共同研究拠点課題選定委員会委員長 東北大学大学院 理学研究科 教授 井龍 康文

13:00-14:15 (座長：池原 実)

O-01 「ガーナ、22 億年前海底堆積物掘削計画 1」清川 昌一 (九州大学) ほか

O-02 「西オーストラリア・ピルバラ地域における堆積岩コア試料の炭素・硫黄分析から探る 32 億年前の海底環境」三木 翼 (九州大学) ほか

O-03 「南アフリカ・バーバートン帯・フィグツリー層の U-Pb 年代測定および有機炭素同位体測定」原田 拓哉 (九州大学) ほか

O-04 「ブラジル Espinhaço 超層群 Itapanhoacanga 層の層序と碎屑性ジルコン U-Pb 年代」吉丸 慧 (九州大学) ほか

O-05 「浅海熱水域薩摩硫黄島における、鉄とシリカに富むマウンドの構造とバクテリアの関連性」倉富 隆 (九州大学) ほか

14:30-15:45 (座長：斎藤 有)

O-06 「海洋コアにみられる生痕構造」清家 弘治 (東京大学)

O-07 「那覇市埋立地下の堆積物コアを用いた人為影響下におけるサンゴ礁生態系の長期変遷の解明」藤田 和彦 (琉球大学) ほか

O-08 「生息北限域のサンゴ骨格中ホウ素同位体比と海水 pH の比較」岨 康輝 (東邦大学) ほか

O-09 「美濃帯の上部三畳系層状チャートに記録された有機炭素同位体比変動」尾上 哲治 (熊本大学) ほか

O-10 「三畳紀層状チャートを対象とした古地磁気・化石統合層序の確立」山下 大輔 (熊本大学) ほか

15:45-17:00 ポスター発表：概要紹介、引き続いてコアタイム

P-01 「北半球における大規模な大陸氷床発達期 (MIS104-100) の深層水循環の変遷」大野 正夫 (九州大学) ほか

P-02 「IODP Exp 320 及び 321 (赤道太平洋) での漸新～中新世の浮遊性有孔虫の安定同位体比層序」松井 浩紀 (東北大学)

P-03 「千島沖海底コア中に介在するテフラの化学組成」青木 かおり (立正大学)

P-04 「上越沖巨大ガスハイドレート塊の浮上仮説の検証」蛭田 明宏 (明治大学) ほか

P-05 「浅海域の複数起源有機物動態と炭素隔離過程」渡辺 謙太 (港湾空港技術研究所) ほか

P-06 「徳島県田井ノ浜における珪藻化石群集を用いた地震性地殻変動履歴の復元」千葉 崇 (筑波大学) ほか

P-07 「液状化－流動化の実態および千葉セクションにおける更新統前期－中期境界の国本層の泥岩の内部構造」風岡 修 (千葉県環境研究センター)

P-08 「沖縄海底熱水域鉱石中の重晶石を用いた放射非平衡年代測定」内田 乃 (岡山理科大学) ほか

P-09 「鬼界カルデラ及び薩摩硫黄島長浜湾における海洋底堆積物の層序と化学組成」原田 拓人 (九州大学) ほか

17:00-18:00 (座長：岡村 慶)

O-11 「氷期－間氷期変動に対する太平洋熱帯域の水温躍層深度の応答」佐川 拓也 (九州大学)

O-12 「中海における過去 100 年間の貝形虫殻の炭素・酸素同位体比変化」山田 桂 (信州大学)

O-13 「ニュージーランド沖の更新統コア中の底棲有孔虫から求められた酸素同位体比変動と海水準変動」保柳 康一 (信州大学) ほか

O-14 「ミシシッピ州のモーシー・グローブ・コアの始新世～漸新世の底生有孔虫の安定同位体比変動」山口 龍彦 (高知大学) ほか

3月3日(火)

9:00-10:15 (座長：山本 裕二)

O-15 「古地磁気連続測定データのデコンボリューションとその精度向上」小田 啓邦 (産業技術総合研究所) ほか

O-16 「磁性流体含浸試料の岩石磁気特性に基づく浸透率異方性評価」伊藤 康人 (大阪府立大学)

O-17 「Rock-magnetic study of single zircon crystals sampled from the Nakagawa River, Tanzawa, Japan」佐藤 雅彦 (九州大学) ほか

O-18 「岐阜県瑞浪地域の約 16 Ma の古地磁気方位と回転運動」星 博幸 (愛知教育大学)

O-19 「千葉セクションにおける Matuyama-Brunhes 極性境界の古地磁気記録」岡田 誠 (茨城大学) ほか

10:35-11:50 (座長：村山 雅史)

O-20 「超マフィック熱水系における高磁化帯の起源：磁気異常と岩石試料による制約」藤井 昌和 (東京大学)

O-21 「南鳥島周辺海域の赤色粘土の古地磁気・岩石磁気」山崎 俊嗣 (東京大学, 産業技術総合研究所) ほか

O-22 「西部赤道太平洋の海底堆積物コアを用いた古地磁気強度変動に関する研究」櫻本 晋洋 (東京大学) ほか

O-23 「凍結乾燥法を用いた含水未固結堆積物の微細組織観察」蔵 永 萌 (山口大学) ほか

O-24 「炭質物の熱分解特性から推定した地震時の断層滑り挙動」廣野 哲朗 (大阪大学)

11:50-12:00

閉会挨拶 高知大学 海洋コア総合研究センター 副センター長 小玉 一人

*共同利用・共同研究は、独立行政法人海洋研究開発機構 (JAMSTEC) の協力を得て実施されています。

事務局：高知大学 海洋コア総合研究センター TEL：088-864-6712

URL:<http://www.kochi-u.ac.jp/marine-core/>



平成 26 年度高知大学海洋コア総合研究センター
共同利用・共同研究成果発表会
プログラム

3月2日(月)

12:50-13:00

開会挨拶

共同利用・共同研究拠点課題選定委員会委員長

東北大学大学院 理学研究科 教授 井龍 康文

13:00-14:15 (座長：池原 実)

O-01 「ガーナ，22億年前海底堆積物掘削計画1」

清川 昌一 (九州大学)，伊藤 孝 (茨城大学)，尾上 哲治 (熊本大学)，池原 実 (高知大学)，
吉丸 慧 (九州大学)，TETTEH, George M. (University of mine and technology in Tarkwa)，
NYAME, Frank K. (University of Ghana)

O-02 「西オーストラリア・ピルバラ地域における堆積岩コア試料の炭素・硫黄分析から探る
32億年前の海底環境」

三木 翼，清川 昌一，奈良岡 浩 (九州大学)，高畑 直人，石田 章純 (東京大学)，
伊藤 孝 (茨城大学)，池原 実 (高知大学)，山口 耕生 (東邦大学・NASA)，
佐野 有司 (東京大学)

O-03 「南アフリカ・バーバートン帯・フィグツリー層の U-Pb 年代測定および有機炭素同位体測定」

原田 拓哉 (九州大学)，堤 之慕 (国立科学博物館)，池原 実 (高知大学)，清川 昌一，
寺司 周平，三木 翼 (九州大学)

O-04 「ブラジル Espinhaço 超層群 Itapanhoacanga 層の層序と碎屑性ジルコン U-Pb 年代」

吉丸 慧 (九州大学)，堤 之恭 (国立科学博物館)，清川 昌一 (九州大学)，
Carlos Alberto Rosière (Universidade Federal de Minas Gerais)

O-05 「浅海熱水域薩摩硫黄島における，鉄とシリカに富むマウンドの構造とバクテリアの関連性」

倉富 隆，清川 昌一 (九州大学)，池原 実 (高知大)，後藤 秀作 (産業技術総合研究所)，
星野 辰彦 (海洋研究開発機構)，池上 郁彦，箕輪 雄人 (九州大学)

14:30-15:45 (座長：齋藤 有)

O-06 「海洋コアにみられる生痕構造」

清家 弘治 (東京大学)

O-07 「那覇市埋立地下の堆積物コアを用いた人為影響下におけるサンゴ礁生態系の長期変遷の解明」

藤田 和彦, 本郷 宙軌, 川崎 裕子, 嶺井 翔伍, 佐々木 徹 (琉球大学)

O-08 「生息北限域のサンゴ骨格中ホウ素同位体比と海水pHの比較」

嶋 康輝 (東邦大学), 田中 健太郎 (東京大学), 渡邊 剛 (北海道大学), Jens Zinke (UWA),
野村 恵一 (串本海中公園センター), Malcolm McCulloch (UWA)

O-09 「美濃帯の上部三畳系層状チャートに記録された有機炭素同位体比変動」

尾上 哲治 (熊本大学), 池原 実 (高知大学), 川越 義志, 渡邊 涼 (熊本大学)

O-10 「三畳紀層状チャートを対象とした古地磁気・化石統合層序の確立」

山下 大輔 (熊本大学), 宇野 康司 (岡山大学), 尾上 哲治 (熊本大学)

15:45-17:00 ポスター発表：概要紹介，引き続いてコアタイム

P-01 「北半球における大規模な大陸氷床発達期 (MIS104-100) の深層水循環の変遷」

大野 正夫, 楨尾 雅人, 佐藤 雅彦, 藤田 周 (九州大学), 林 辰弥 (御船町恐竜博物館),
桑原 義博 (九州大学)

P-02 「IODP Exp 320 及び 321 (赤道太平洋) での漸新～中新世の浮遊性有孔虫の安定同位体比層序」

松井 浩紀 (東北大学)

P-03 「千島沖海底コア中に介在するテフラの化学組成」

青木 かおり (立正大学)

P-04 「上越沖巨大ガスハイドレート塊の浮上仮説の検証」

蛭田 明宏 (明治大学), 村山 雅史, 山本 裕二, 小玉 一人 (高知大学), 松本 良 (明治大学)

P-05 「浅海域の複数起源有機物動態と炭素隔離過程」

渡辺 謙太, 桑江 朝比呂 (港湾空港技術研究所)

P-06 「徳島県田井ノ浜における珪藻化石群集を用いた地震性地殻変動履歴の復元」

千葉 崇, 藤野 滋弘, 小堀 詠美 (筑波大学)

P-07 「液状化－流動化の実態および千葉セクションにおける更新統前期－中期境界の国本層の
泥岩の内部構造」

風岡 修 (千葉県環境研究センター)

P-08 「沖縄海底熱水域鉱石中の重晶石を用いた放射非平衡年代測定」

内田 乃, 豊田 新 (岡山理科大学), 石橋 純一郎 (九州大学)

P-09 「鬼界カルデラ及び薩摩硫黄島長浜湾における海洋底堆積物の層序と化学組成」

原田 拓人, 清川 昌一 (九州大学), 池原 実 (高知大学)

17:00-18:00 (座長：岡村 慶)

O-11 「氷期－間氷期変動に対する太平洋熱帯域の水温躍層深度の応答」

佐川 拓也 (九州大学)

O-12 「中海における過去 100 年間の貝形虫殻の炭素・酸素同位体比変化」

山田 桂 (信州大学)

O-13 「ニュージーランド沖の更新統コア中の底棲有孔虫から求められた酸素同位体比変動と海水準変動」

保柳 康一, 竹内 時実 (信州大学)

O-14 「ミシシッピ州のモーシー・グローブ・コアの始新世～漸新世の底生有孔虫の安定同位体比変動」

山口 龍彦 (高知大学), トム ダンクリー・ジョーンズ (バーミンガム大学),
リチャード ノリス (カリフォルニア大学サンディエゴ校), ブリジット ウェイド
(ユニヴァーシティ・カレッジ・ロンドン), 村山 雅史 (高知大学)

3月3日(火)

9:00-10:15 (座長: 山本 裕二)

- O-15 「古地磁気連続測定データのデコンボリューションとその精度向上」
小田 啓邦 (産業技術総合研究所), 山本 裕二 (高知大学),
Chuang Xuan (University of Southampton)
- O-16 「磁性流体含浸試料の岩石磁気特性に基づく浸透率異方性評価」
伊藤 康人 (大阪府立大学)
- O-17 「Rock-magnetic study of single zircon crystals sampled from the Nakagawa River, Tanzawa, Japan」
佐藤 雅彦 (九州大学), 山本 伸次 (東京大学), 山本 裕二 (高知大学),
大野 正夫 (九州大学), 綱川 秀夫, 丸山 茂徳 (東京工業大学)
- O-18 「岐阜県瑞浪地域の約 16 Ma の古地磁気方位と回転運動」
星 博幸 (愛知教育大学)
- O-19 「千葉セクションにおける Matuyama-Brunhes 極性境界の古地磁気記録」
岡田 誠, 丸岡 亨, 羽田 裕貴 (茨城大学), 菅沼 悠介 (国立極地研究所),
風岡 修 (千葉県環境研究センター)

10:35-11:50 (座長: 村山 雅史)

- O-20 「超マフィック熱水系における高磁化帯の起源: 磁気異常と岩石試料による制約」
藤井 昌和 (東京大学)
- O-21 「南鳥島周辺海域の赤色粘土の古地磁気・岩石磁気」
山崎 俊嗣 (東京大学, 産業技術総合研究所), 臼井 洋一 (海洋研究開発機構)
- O-22 「西部赤道太平洋の海底堆積物コアを用いた古地磁気強度変動に関する研究」
櫻本 晋洋, 山崎 俊嗣 (東京大学), 木元 克典 (海洋研究開発機構)
- O-23 「凍結乾燥法を用いた含水未固結堆積物の微細組織観察」
蔵永 萌, 川村 喜一郎 (山口大学)
- O-24 「炭質物の熱分解特性から推定した地震時の断層滑り挙動」
廣野 哲朗 (大阪大学)

11:50-12:00

閉会挨拶

高知大学 海洋コア総合研究センター 副センター長 小玉 一人

* 共同利用・共同研究は、独立行政法人海洋研究開発機構 (JAMSTEC) の協力を得て実施されています。